

~~~~~  
第 16 回 生物多様性研究センターセミナー  
~~~~~

このセミナー（昨年度までは勉強会）は、名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科に設置された生物多様性研究センターの活動の一環として、平成22年度から行われています。狭義の生物多様性問題だけでなく、関連分野の幅広い話題を取り上げ、研究グループの枠を超えた知的交流の場の形成を目指しています。このセミナーが有意義なひとときとなりますよう、皆様の積極的なご参加とご協力をお願い致します。学生の方、一般の方の御参加も大歓迎です。入場は無料です。

日時 平成24年4月11日（水） 19:00～

場所 名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科
滝子（山の畑）キャンパス 4号館3階 大講義室
<http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/location.html>

話題 「インドネシア・スラウェシ島のメダカ採集・調査と世界のメダカ館における役割」

話題提供者 田中 理映子氏（名古屋市 東山動物園 世界のメダカ館）

ダツ目メダカ科に属する魚類はアジア固有の魚であり、32種の現生種が知られている。IUCNによると、このうち半数以上の種が絶滅危惧種である。しかしいまだに新種が発見されることがあり、生息情報が殆どない種もあるため、この種数は変動的である。

名古屋市東山動物園、世界のメダカ館では20種のメダカ類を飼育しており、そのほとんどで自家繁殖と継代飼育に成功している。世界でもユニークなメダカ類の展示施設であるとともに、来園者には環境教育の場を研究者には研究材料を提供する役割を担っている。絶滅危惧種のメダカを飼育し種の保存を図っていくとともに、メダカ類を全種収集して展示することを考えている。

そこで、2008年及び2011年にインドネシア・スラウェシ島においてメダカ類の採集と生息地調査を行った。この島には15種のメダカ類が生息し、このうち13種もが固有種である。この調査で数種のメダカ類を日本へ持ち帰ることができ、飼育下繁殖に成功し、生息地の様子もくわしく調査することができた。